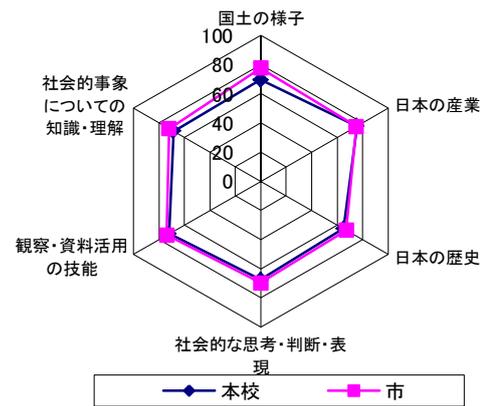


宇都宮市立平石北小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	69.5	77.6	77.6
	日本の産業	75.5	75.1	67.5
	日本の歴史	65.0	67.2	62.0
観点別	社会的な思考・判断・表現	67.4	69.7	64.7
	観察・資料活用 の技能	72.2	73.8	68.5
	社会的な事象 についての知識・理解	68.5	72.0	67.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市の平均を大きく下回っている。 特に、国土の地形や気候についての問題では、正答率が50～60%前後と低くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題意識をもって学習に取り組めるよう、単元の最後に調べたり分かったりしたことをまとめたり、話し合い活動や発表を取り入れるなどして、授業の構成を工夫していく。 国土の地形や気候についての復習問題に取り組み、定着を図っていく。
日本の産業	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市の平均と比較してほぼ同じである。 日本の食料生産と関連する資料を選んだり、自動車生産についての資料を読み取ったりする問題では、95～100%の正答率である。 産業、工業とも、知識をもとに考察し、判断したり表現したりする問題では、正答率が60%弱であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の産業、工業についての復習問題に取り組み、定着を図っていく。
日本の歴史	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市の平均とほぼ同じである。 時代の大きな出来事についての問題では、80%以上の正答率である。 同じ時代でも正答率にばらつきがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の歴史について、教科書や資料集を使って定着を図り、自分なりに時代のまとめ方ができるようにする。